



当該区間の一級河川思川は、計画規模1/50で計画高水流量は3千7百m³/秒。今回の工事区間では、堤防整備は概ね完成しており、河道を掘削して河積断面を拡大することによって、なる治水上の安全確保を目的としています。

今治水期には、2分割で河道掘削工事を発注しており、各工と9千m²の掘削を実施しているところとです。

一級河川思川 河道掘削工事

栃木とちアイコン NEWS
掘削施工編

今回の栃木土木におけるICT活用工事の活用は、測量時のもの続きは、測量時のもの続きは、測量時のもの続きは、測量時のもの...

県南地区唯一のICT活用工事
多くの関係団体が見学会参加



MCブルドーザを実際に試乗！！

現場に準備した2台のICT建機（マシンコントロールブルドーザ）を参加者の半数程度が実際に運転しました。

自動制御により、レバー等を操作しなくとも、平坦に掘削できる施工を体験しました。

先取り情報

小規模土工でもICT施工を実施しやすい環境とするため平成30年2月1日に公表された国交省の積算要領改定に基づき、県でも3月9日以降の発注で適用が可能となります。

改定では、建機の実稼働率により費用を事後精算可能な積算となります。

株式会社 保坂建築事務所
河道掘削工事 思川その2 (安全川補)



わたしたちの街を育む



現場代理人 濱野 孝

株式会社 松本組
河道掘削工事 思川その1 (安全川補)




現場代理人 猪瀬賢吾

栃木土木 監督員 整備部 荒川主査

建設現場で働く技能労働者約3万4千人のうち、10年以内の経験者約1万人が、ICT活用工事を行うことにより、生産性向上を図ることが期待されています。

お問合せ先

栃木土木事務所 整備部整備第二課

TEL 0282-23-3434

栃木県i-Construction推進県部会事務局(県庁技術管理課内)

TEL 028-623-2421



※栃木県i-Construction推進県部会のHPでは、i-Constructionの取組みについて紹介しています

とちアイコン X